

## 6 - 2 中部地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Chubu District

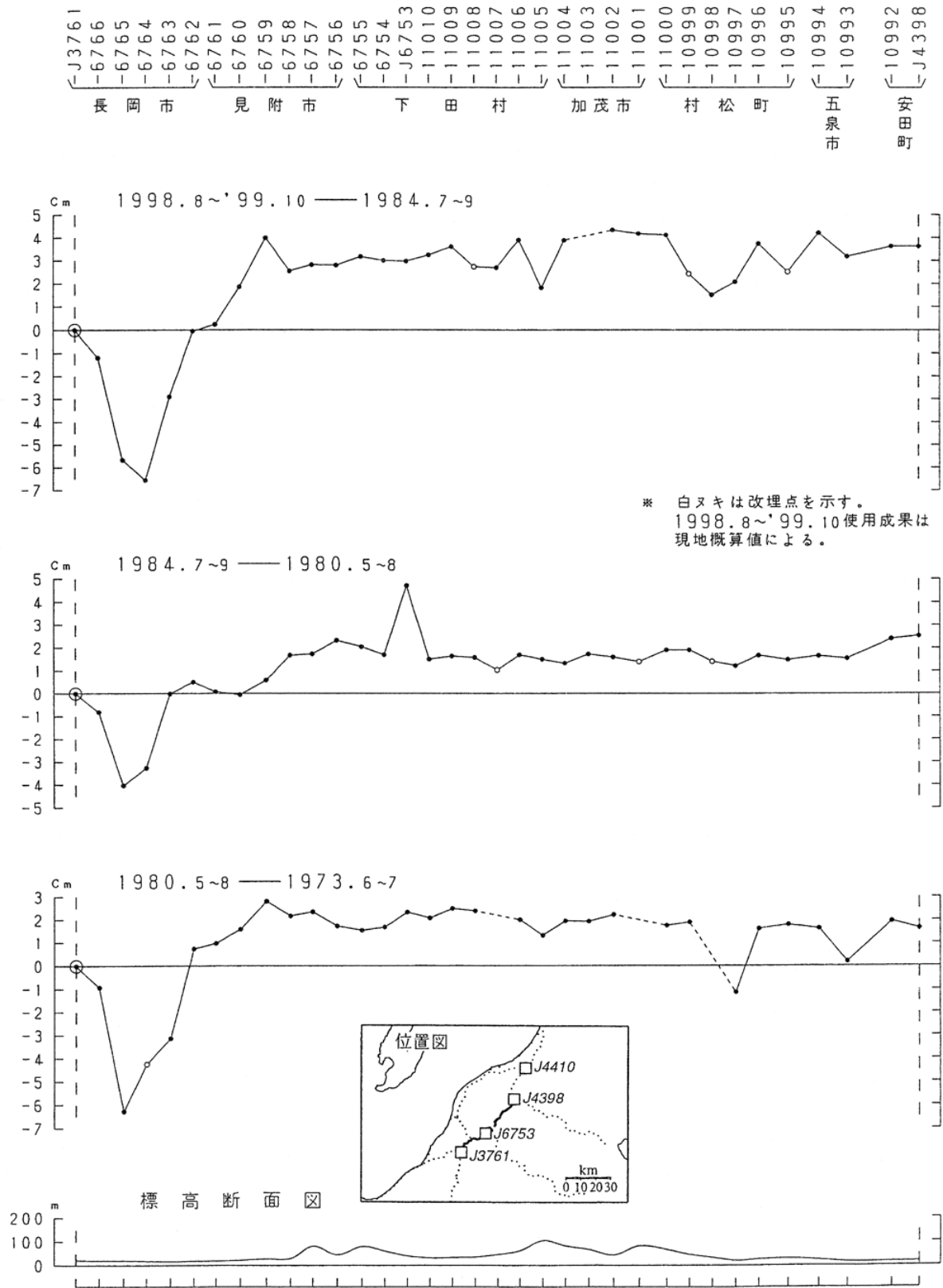
国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、長岡市から安田町に至る水準測量結果である。1973年以來この地域の変動は同じパターンで進行している。長岡市の6765を中心とした沈降は、地下水汲み上げによる地盤沈下によるものである。安田町に比べて長岡市が沈降しているのも長岡市側の地盤沈下によるものである。

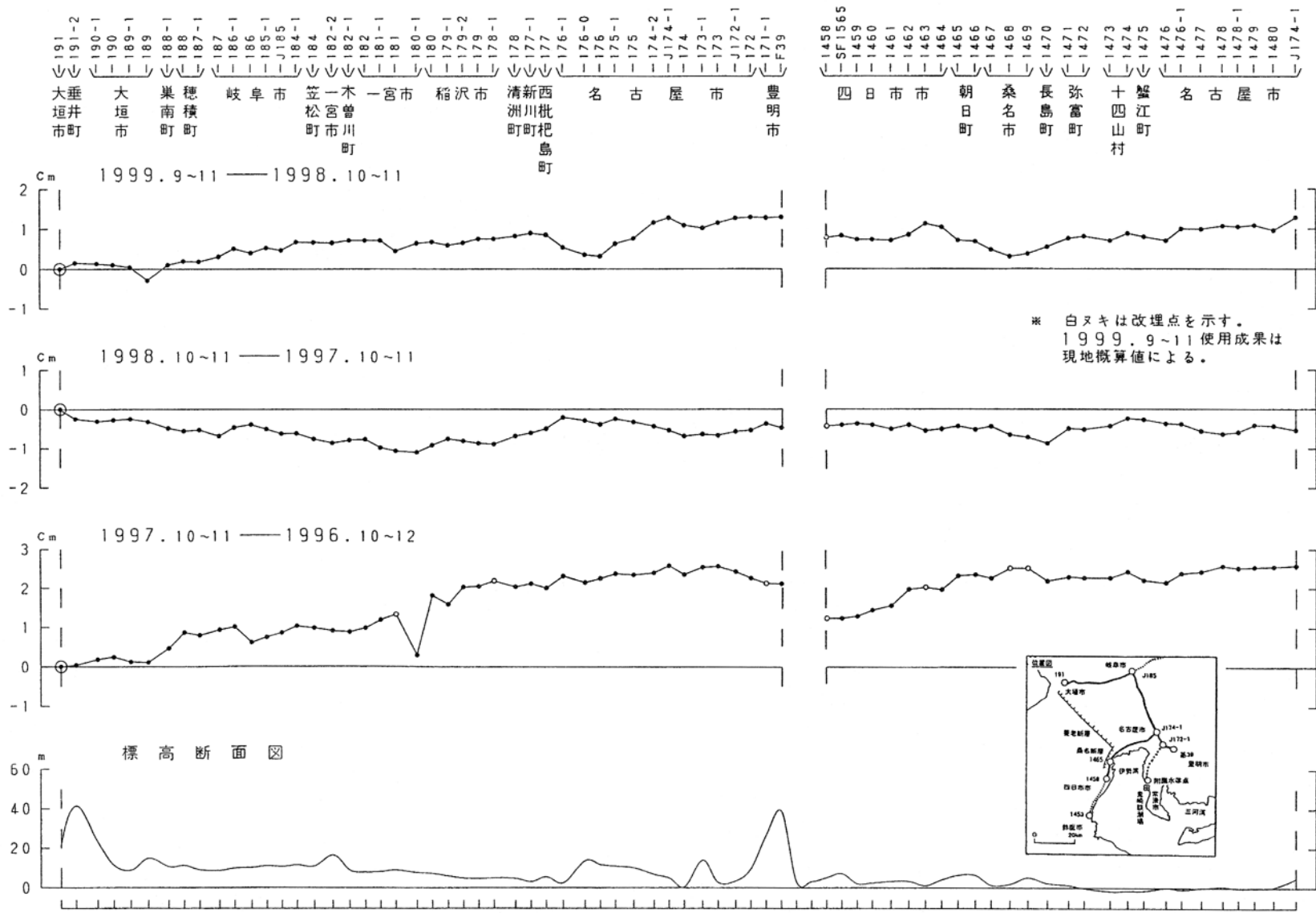
第2図は、中部地方の水準測量結果である。大垣市から岐阜市、名古屋市を経て四日市市に至る路線の最近3年間の結果を比較すると、1997年 - 1996年の比較では大垣市が名古屋市に対して約3cm沈降していたが、それ以降は大きな変動は見られない。伊勢湾の北岸の路線では最近3年間を通じて大きな変動はない。

第3図は、上高地付近のGPS連続観測結果である。1998年8月7日頃から上高地付近において地震活動が活発化した。この地域はGPS点間の距離が遠いため活動域内には常設のGPS点がなく、既設のGPS連続観測点間の基線長には活動に関係すると思われる変化は現れていない。1998年10月1日に活動地域の中心部に近い地点にGPS観測点を設置し連続観測を開始した。観測値に変動は現れていない。



第1図 北陸地方（長岡市～安田町間）における水準測量結果

Fig.1 Results of precise leveling in the Hokuriku district.



第2図 中京地方（大垣市～四日市市間）における水準測量結果

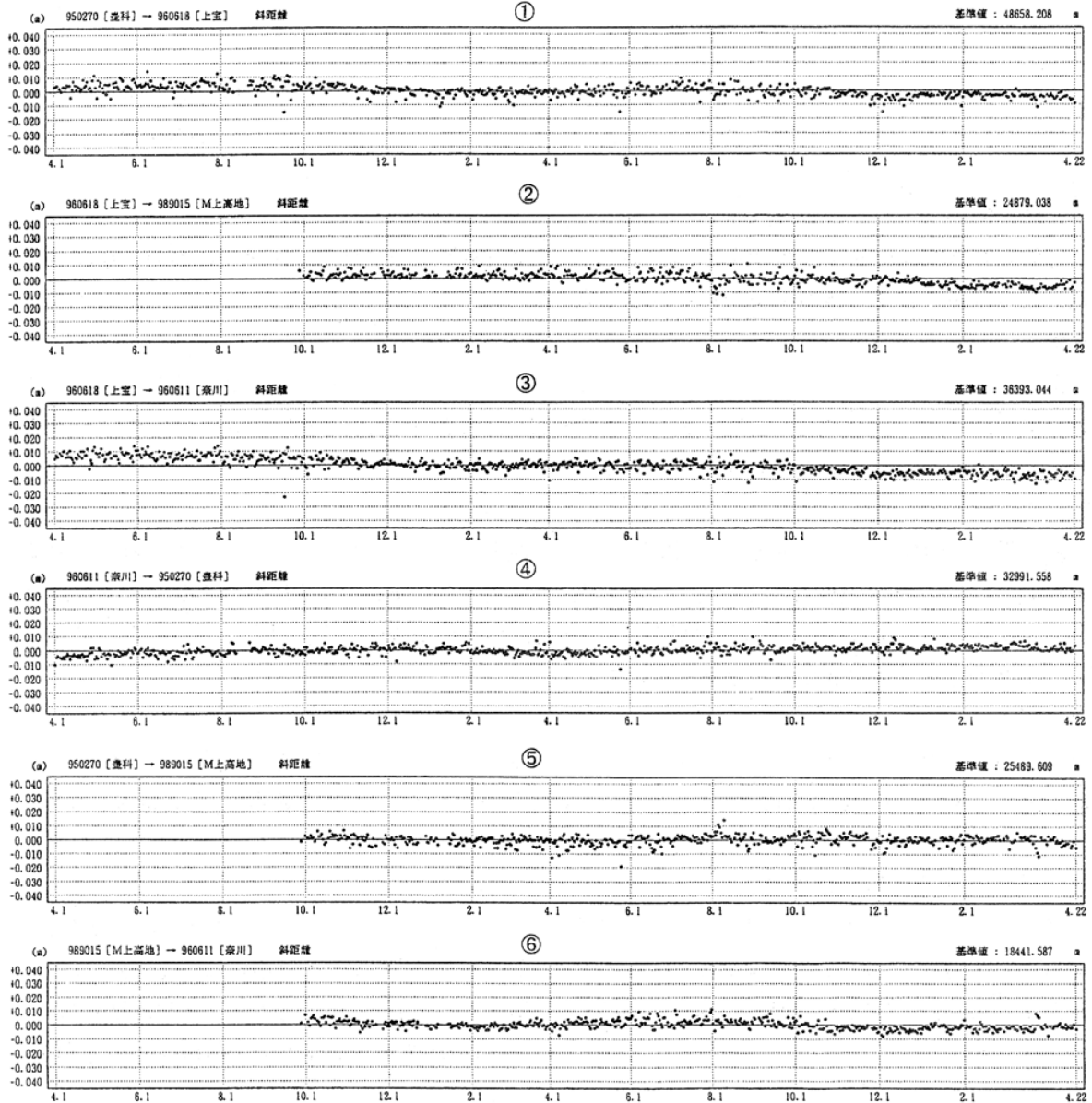
Fig.2 Results of precise leveling in the Chukyo district .



期 間：1998年4月1日 ~ 2000年4月22日  
座標系：#GCS84

基線長変化グラフ

精密暦



● --- Bernese[IGS暦]

2000年1月1日分データより基線解析プログラム設定変更

第3図-(2) 上高地付近のGPS連続観測結果(基線長変化)

Fig.3-(2) Results of GPS continuous measurements at Kamikochi (2).